

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	: 臭化リチウム(無水)		
会社情報			
会社名	: 関東化学株式会社		
住 所	: 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1		
担当部門	: 試薬事業本部 企画管理部 資料課		
電話番号	: (0120)260-489		
F A X 番号	: (03)3241-1047		
メールアドレス	: BC32@kanto.co.jp		
整理番号	: 24234		
推奨用途	: 試験研究用		
使用上の制限	: 推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。		

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性 (経口)	区分 4
	皮膚感作性	区分 1B
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (中枢神経系)

絵表示



注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	

注意書き

安全対策	: 粉じんを吸入しないこと。 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	: 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。 口をすすぐこと。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合 : 医師の診察／手当を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管	: 施錠して保管すること。
廃棄	: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 物質

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
臭化リチウム	≥ 95	BrLi	1-110	既存化学物質	7550-35-8

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の処置を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに流水で 15 分間以上洗い流す。
飲み込んだ場合	: 直ちに水を飲ませる。必要に応じて医師の処置を受ける。
応急措置をする者の保護	: 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤	: 特になし
消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消防を行う者の保護	: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
-------	---

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
------------	--

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 飞散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。
--------	--

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	: みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

保管

- 安全な保管条件 : 吸湿性があるので、容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
産衛学会 許容濃度	設定されていない
ACGIH TWA	設定されていない

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 防じんマスク
手の保護具 : 不浸透性保護手袋
眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣（長袖作業衣）、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体
色 : 白色
臭い : 無臭
pH : 中性
融点 : 547 ° C
凝固点 : データなし
沸点 : 1265 ° C
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : 不燃性
蒸気圧 : データなし
相対密度 : 3.464 (25/4°C)
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : 水: 143 g/100mL (0°C)
有機溶剤: エタノール、エーテルに可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性 : 通常条件で安定である。吸湿性がある。
危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下では安定。
避けるべき条件 : 日光、熱、水分。

混触危険物質
危険有害な分解生成物

: 酸化剤。
: 酸化リチウム。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)

: 飲み込むと有害
ラット LD₅₀=1383 mg/kg

急性毒性 (経皮)

: 分類できない
: 区分に該当しない (気体)

急性毒性 (吸入)

: 分類できない (蒸気)
分類できない (粉じん、ミスト)

皮膚腐食性／刺激性

: 分類できない
: 区分に該当しない
ウサギ(n=4)を用いた眼刺激性試験(OECD TG 405相当、GLP、16日観察)において、みられた影響は16日以内に完全回復した(角膜混濁スコア: 0.3/0.7/0/2、虹彩炎スコア: 0/0/0/0、結膜発赤スコア: 1/1.7/0.3/2.3、結膜浮腫スコア: 0.3/0.3/0.3/3.7)との報告がある。よって、区分に該当しないとした。

呼吸器感作性

: 分類できない

皮膚感作性

: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
モルモット(n=10)を用いたBuehler試験(OECD TG 406、GLP、局所投与: 原液)において、40%(4/10例)に反応がみられた惹起24、48時間後の陽性率は20%(2/10例)、50%(5/10例)であり、再惹起24、48時間後の陽性率はともに40%(4/10例)であった(≥15%で区分1B)との報告がある。よって、区分1Bとした。

生殖細胞変異原性

: 分類できない
in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro 試験として、エームス試験で陰性、CHL細胞を用いた染色体異常試験で陰性の報告がある。

発がん性

: 分類できない

生殖毒性

: 分類できない

ラットを用いた反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG 422: GLP準拠)において、性周期、交尾率、受胎率、出産率、着床率、産児数および分娩率などの生殖指標に投与の影響は認められず、出生仔にも投与に起因すると考えられる形態異常も報告されていないが、催奇形性を含む仔の発生に及ぼす影響に関してはデータ不十分なため「分類できない」とした。

: 臓器の障害のおそれ (中枢神経系)

ラットを用いる急性経口投与毒性試験(OECD TG 401: GLP準拠)において、投与後の毒性変化としては、雄では投与群(670-2500 mg/kg)のほぼ全例、ならびに雌では930 mg/kg以上の投与群の全例に自発運動の減少が認められ、投与直後に常同行動を示す例、さらに、投与後の時間経過に伴い、鎮静に至る例、あるいは半眼および歩行異常などを示す例があり、中枢神経系が毒性の標的のひとつとして考えられると述べられている。用量はガイドライン値区分2に相当しているので、区分2(中枢神経系)とした。

: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系)

ラットを用いた反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG 422: GLP準拠)において、雌雄とも最高用量80 mg/kg/day(90日換算: 約40 mg/kg/day)において、雄雌のほぼ全例に常同行動が観察された。また本物質の毒性として、ヒトに対しては臭素による中枢神経系の障害の可能性が指摘されているとの記載があり、ラットでの常同行動は区分2のガイドライン値内での用量であることから区分2(中枢神経系)とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 分類できない

誤えん有害性

12. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 短期（急性） : 区分に該当しない
魚類(ミナミメダカ) LC50>100 mg/L/96h
- 水生環境有害性 長期（慢性） : 区分に該当しない
甲殻類(オオミジンコ) NOEC=10 mg/L/21-day

残留性・分解性

追加情報なし

生体蓄積性

低濃縮性
BCF(リチウム) : ≤4 (3 mg/L), ≤31 (0.3 mg/L)
BCF(臭素) : ≤4.3 (3 mg/L), ≤31 (0.3 mg/L)

土壤中の移動性

追加情報なし

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 多量の水で希釈して、pHを中性に調整し処理する。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送 (IMDG)

- 国連番号 (IMDG) : 非該当
正式品名 (IMDG) : 非該当
容器等級 (IMDG) : 非該当
輸送危険物分類 (IMDG) : 非該当

航空輸送 (IATA)

- 国連番号 (IATA) : 非該当
正式品名 (IATA) : 非該当
容器等級 (IATA) : 非該当
輸送危険物分類 (IATA) : 非該当
- 海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

- 陸上規制 : 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）（2026年4月1日以降）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）（2026年4月1日以降）

臭化リチウム

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧）

毒物及び劇物取締法

: 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

: 非該当

16. その他情報

参考文献

: NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIPI)、独立行政法人製品評価技術基盤機構。
化学大辞典 共立出版社 (1963)。
17625 の化学商品、化学工業日報社 (2025)。

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート (SDS) は、JIS Z7253に基づいて作成しております。